| | 號 | | | + | • | 百 | , | 九 | 第 | | | | | | | | | 李 | <u> </u> | • | Æ | <u> </u> | | Ĭ | 詳 | | Ę | 柱 | | | | | | 日- | 月 | 三年 | <u>_</u> _1 | 正力 | | | | 便到 | 『種 | 三第 | <u>)</u> | (] | <u>-)</u> | = . |
|---|---|--|---|--|--------------------------------|--|---|---|---|--------------------------------------|--|---|--|--|--|--|--|--------------------------------|---|--------------------------------|--------------------------------|--|---|----------------------------|--|--------------------------------------|--|--|--|---|--|---|--|--------------------------------------|---|--|--|--|--|------------------------------|---|--|---|---|---|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 福 送 首 林 伊 軍 行 動 論 駅 | 小園の首府「テレ南し」の對きの佛園 | シ『叫ー수』元帥의 丰張む바斗如前獨逸軍でいる。 | 佛軍是劉侵入乎 | 機 | ナ | 一土、講和條約否認 | | (桑港四川簽電)米域『小し五川」在郷軍人図の月今回移民衆で對す | | | | はある は言いり為がようなを記されるのようと次の五不日右の関連の や張總理が五萬圓乃至十萬圓を 支出のりを次の五不日右の関 | 1 | 國是會議復活計畫 | 限可開的中英國政府日本記書得也 秘密事情可可引 | 英密名の内容を満州では日本の特殊地位を認める旅順大連の阻昔期一英國外相『平司三』氏問の交換を秘密の本日中國新聞の暴露の少せる。定 | 一個條問題可關하呼 日本加藤高明子斗當時人 十二十二人 人 考古之人 | -一固条問題別對計作 | 日英間秘密事件 曹 | 가 强硬하더라 | 要求是拒絕하면國際裁判所の訴하라하今態度出 | (北京七日發電)長恩里と日本り二十一固条發棄した計学日本 | (北京七日後電) 二十二個條廢薬通告モニ十四日或二十五日エ内・託すり、 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11 | FF-7 | | ののは、日本の人指紀と境遇と四日の改革の日本の人指紀と境遇と四日の東京の | 本の通告かりの賛成か五又某外國顧問의意見自 | 回電や皆二十一個條日中協約의 全部廢止壹日 盆口外名属分位名省宣月上官等 书页叫加。對了四 | 生外各國公吏各省事民長官司 化京政府州對意思以後可以及可以及可以發明以及可以不可以及可以及可以及可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可以不可 | (上海七日發通) 中國政府の月二十一個條問題の對命の本月十日日記者事代ができり作り許さる語明でつます。ので | 書七六百字是成前正廢棄の同意計기를要求する以の全使 | かい十日の東京中國公使館の到着 サ東定とす公文前十 | 公文書号携帯하고五日北京号發하げ朝鮮が経由で公文書号携帯が平五日北京号發하げ朝鮮が経由で | 作名下房子可可引用的复数要求用 | | ●内閣・倒壞が引ュ制策が引引 | Eプーリンドトとなりでは、「一日では個人がより、日本トラントラントでは、「一日では、日本トラントラントラントでは、「一日では、日本トラントラントラントでは、「一日では、日本トラントラントラントラントラント (1995年) 1997年 - 日本トランド (1995年) 1997年 - 日本トランドランド (1995年) 1997年 - 日本トランド (1995年) 1997年 - 日本トランドランド (1995年) 1997年 - 日本トランドランド (1995年) 1997年 - 日本トランド (1995年) 1997年 - 日本トランドランドランドランドランドランドランドランドランドランドランドランドランドラ | の の の の の の の の の の の の の の | 月沙爱会味 | 氏의代表の川窮迫を當から八日午後の總解職理 | 張内閣の福建廣東問題豆吳佩祭 | 班 | | 建业 | 事者要求 | t v 4 | | |
| おとり如何もか | in 1 | ●鎌田文相 宗教法当意味呈答辯 四条考慮す変質事昱思惟可と中 11年 | 調査を思考の十个の即時實行かの京山の中二引小提出も以り放星充分司氏の | 하五國有財產處分法ニュ處理は 荒り管造物はニエル境内地王國有星 (| 可能計量運动工更可神社是國門 门門 | 会が記れなけると、 一英有 は 一 の の の の の の の の の の の の の の の の の の | 総念や必要対の日むを三思惟お、は一意可りの可む。 | 関ういている アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ | 議會 | 豆刈可次がぴュ况且本案も衆議 松格及祭祀の關立建議案を大多數 鉛 | ▲見玉秀雄伯 本員を異者神社社 ない一讀賞を開する ター | ・報道が、前長男は19世代の「別」は、19時代は19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別」は、19世代の「別、19世代の「別、19世代の、19世代の「別、19世代の | . 同 | 日程第七、借地借家調停法中收正 | き(衆議院提出一讀會)委員の附 おは | 定計りによりにはなり、大手には、大手には、大手には、大手には、大手には、大手には、大手には、大手には | 紀田委員長の報告外有も後可決確 神奈(一讀會委員長報告) (午後 | 日程第五、共通法中 收正 法律案 (c) | 小有寺立可決確定寺中(大正八 | 括上程하り松浦委員長の経過報告) | 中敗正法律案〈一讀會姿員長報程第四、大正八年法律第十二號 | 上程第二 计學中最會語的中的工 等 | 記録で、 と手別すけられて、 管 | 「漿網督の説明の有하五委員の別」4矢5年(第一讀會) | 道補助法中改正法律 | 1程第二、朝鮮私設鐵 | 「自の答辞の有む後委員の川附託の一念公司答辞の有む後西野次官の野中事官局長」 意 | 『一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」のでは、「一般のでは、「一般のでは、」のでは、「一般のでは、「一般のでは、」のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「 | 野大蔵吹官の説明の育みなん谷 案案(第一讀會) | 日程第一、煙草專賢法中敗正法律 附 | 日々又延長す助職を提出を後此一日程 | 文前十時二十分《開議却五林豫算委 案 | 東京戦)日本政族院を八日午「日程」(八) 日) 電 | 會議 | IV. | 祖兄の非常性には、祖本のは、 | というというでは、「おいっぱっぱい」という。「おいっぱい」「おいっぱいっぱっぱいっぱいましょう」「おいっぱいましょう」「おいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱいっぱい | 勞農政府武 | 4年の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の | ・オヨウュ 外務委員會と伯林の日とは | 至前少と日将来と清股利療護度と最近5 (伯林七日蔵池) 労長政府3利権護軍 | 露國利權讓渡政 | 故里多數四死者者出計分の時 | コーナリン・ これ 一年 一日 | 受期「州門」」 | 「路中中司亀中国暦中大中中四社代表の代対に、小部門石油工業の復活 | 米石油會社代表者 | サユ維介セ労働的反抗維持者 約4gg |
| 審田茂氏提出)第一版曾 (1) | すい 一大学は、「一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の | 村提出實族院途附) 一河 會安自四、在第二體師法中改正法律系(政 | 可む後委員の川附託の引い、 一川の水産業保護変物の割から質問 | 并飛相の説明の方が4高木正年 ¹¹ 、政府提出)5一試會 | 程第一遠洋漁業法中敗正法律案O | は11mmに対対の対対のでは、11mmに対対の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対 | 日本道奥り4番がよりとして 8月七公平・経吟か五憲政会の(CI | 「中山酸言き中止州皆り攻友官」をい議長で一身上の蘇明の中へ一 | 四のヨツ引고述む後政友貿易攻 二、初の中立號外を撤布むなの其原 [1] | 初聞の市氏の對하い直接行動÷ (1)初後手煽動をスキ政友質の機關 (1) | ♥が予述하五去二月二十六月3┃、石古屋≏豆轉任3ゅ市會長壓迫 | 「個子祭母子の方色の別思す質 | であり辞明ないか立由水愛知縣 | 日紛後事件の質問中三輪氏小言 五分小山松壽氏。去五日の名古屋市、致己 | で、そのでは、大型でするのでは、人種の | のき行うりまないりな際氏一身上の公告 | ☆川縣選出意政會の田川平三郎 へいてはずれるのでは、日本ののでは、日本ののでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の | 東京電)日本衆議院本會議や | 八首語 | 本會義 | 衆議院議一 | 察時十分の散會하り | 原発し自分となるのかでは、中国の大学の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の | 口是右新門氏 社学早所有也 討 | 答の有む後委員の川附託市五▲蘇藤市日答司五尚且□□□の賢問 | 要する中日の早突然可同意ヲ▲清 | 水主発司長 水袋を大川等意 京 | 規種次郎氏 政府と本案の同 エ | (同上) 寺附藤寺立議會寺開寺 ユニザー 所得税法中吸亚法律 ユ | | 別· 別・ 別・ 別・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の | 告) 委員4川附託하中 | 労九 民事訴訟法中政正法律 ■清報申報 「本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日 | の在対の日前の合・日本来の一部 | 申申 質問 計 ₹ 4 十 內 務 文 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 | 木局長 主義ミモ賛成がエヰ む | 個甲武器→註文がサモ日此七▲作 | に対す ませ 対方を 第月 1 単元 入 が 計 文 / | 日本の中 日本の中 日本の中 日本の中 日本の中 日本の中 日本の中 日本の中 | | 所改当柯權護度委員会 F 月島 甲科· 政政策 + 更引龙磯+確立廿日 久下 | 策確立 | ▼ 4 四百名 4 共和軍→驅滅や 安藤 7 内で | なる おおり は日一 (中の)の は、 一の は、 これの | 放戦 | 在事件上里路间政府斗交排下 2.1 | 露國到着 新 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 学校教 學校教 学人宝 | 教学校 「元、霊 | 京畿道 | 一种 100 mino care care care care care care care care | 5 0 0 0 0 | 海 — 1.200 | Man | 12種類 第0章 12 | 少種苗場 三宝GO 11、当八 | 、動業投 九四里 三二六 九 | 三 | 、土木数 量、150 型、O)C | 後出篇寺部 第二章 第二章 四章 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100 | R PUT BIANTED TO THE TOTAL THE TOT | プロ散合のダイト 一足原案斗如の可決がユー時四十 一 | 朝鮮事業公債法外二件を全倉一一省や午後一時二十五分が開倉司 | 原法中收正法律案外二件特別委一 | 東京也 日本貴族院附非事業 一 | 早無業 全信治 | 日本の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | (關係議事以外略計)建議案十 | 前可决確定並後建議案門入前 。明月是省略市立委員長早報告斗 早 | - 野其他數名の赞成の有む後三 成と日本金部斗憲政會の三十八所、説明 | の論の終結む後採決む結果政友 き | 留代氏 长桨斗必要量走可止 此時間 中中 | ·本案争速引無効星を及り中立 おい瀬一郎氏 - 余七絶對豆反對り 珠 | は終土界のと適切が至り 供れて追切が者の中特が現下の東 | 中司法の成信す保持なのと本 害者 | 生成年七 会と本業の資化計 かい取調が後答がダリュルかけ 近山 | 長 如斯は物子許も事と無い 自治許のとい | 博文の配布可以で日議長を此 ある | 手下り見言業後にする後と 日常波言す水市ユ只今畿事中吾等 (| 水留三郎に 総事進行の對하 しゃ 足別もり 立結論がら | ユ反對も後余七委員長ヲ報告 +b | 豆統一当ハラ智識階級自辯護協議 のおおりを | 4.見E背前了十日十十分別的一次今日日本來七時代思潮早逆行 司淮 | 慢士會手作ュルサン主後三有 なの間耕逸氏(遊政会) 全員的男 なれ | | | 第大 赫護士 法中 吹正法律案 马结 | 近年 はいまれば のでは はいまれば できます はいまれば いっぱい はいまれば いっぱい はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい | 豐忠氏外九名提出)第一蔵竹小群第五家鎌妪蹬鷹分法律案(久)314 | 託おり、一種のでは、日本のでは | · 建筑工能氏外三名提出)第一臟 九、 | 第四軍機保護法中東正法律案 マサオ附託サウ | 本学や女子中単級明を後委員 海路 ペラッ 可見せる第十七個三全席 () | 中央第五號・削除や平女子で 古の場所を開発が平女子で 古 | 田茂氏 治安華聚法甲第五條 |
| 平) 葉補助 10°000 12 000 (2 000) | き)機場合 ■ 0.0 × 0.00 を業圏 | · 新斯斯斯 第二次 110 110 110 110 110 110 110 110 110 11 | 十、語産党 三、000 11、000 ・1、語産党 三、000 11、000 ・1、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、1 | ズ | 1 補 | 福下海 | 小) 铺助 宝宝 500 九年 000 cm | 10年1時0 1号第600 | 一、補助金 老然,000 人口,000 人口 | 五)立農業 1七°500 55°元三0 | 型)立席業 等 000 10% 150 cm 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | ・ | 開城公 開城公 | ユ川謂 w A A A A A A A A A A A A A A A A A A | や別豆定対のT計 | 、調定主任や判仏中の存定ない。 | 湖定委員二名以上二星州組織計劃 | 判所の調定申請を行むを得む 百年報を生む時と覚す者と地方裁 | 小作料其他小作關係の對하味」 | 十條の日其要點や如左引の引定法系も衆議院の提出む바余文 | (東京電) 日本政府モ八日小作 | 小作調定法案 | 香や各派を通が中十四名の中の一八明や下岡忠治氏が此る常が立刻 増 | 學世不中右是決議計尚且此案의金 | 監督を酸重すずゆ速す刷新り實格網果寒心不己すエリ政府や頗ず三 | や者の中且國民思想者惡化州が の候者破壞の五憲政の根本者蹂躙 比 | 第一次では、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、 | 東一股中南止い省が各の後生1 余可立官規の強廢を極かい公共の 百 | や風の益々甚から施設の公正す物米地方官憲の党派的政略の阿附 内 | 行刷新で開む決議案 出 | 五左의決議案争決定がダモロ其年 | 宛内で自治副新特別委員は予別 小東京化) 日本憲政合でロモ八 ず | 日治刷新 聚案 五 | では、日本は影像金額・四千萬間の一世では、日本は影像金額・四千萬間の一世 | 歌を要な點の有がよの中成立な 十調な線縁の中間且綱目を關から よ | 近抄中・條件等可對サル三大略 四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | かる 信力 はない はない という 人の ない はい | 東京電)東拓4外債募集4計で、五、一年、萬、圓、三五、 | 鬼拓外債募集 | 19年の中の答案がある。 多りありまり かんりょう | アンオート アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・ | 関サマ山梨連出・沿泉の守備 「「火セル又・日本軍権の結果セール | 『守衛隊与人員域少七軍備整理』 (答当サムヨ又石渡敏一民氏と) 有 | 二十年兩節則4月守衛兵十級 第二十年兩節則4月守衛兵十級 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | 『サル山梨陸相→此々朝鮮第十 版』(『日曜僧→線少サル質問サエ北) | 「分科會マ母版本復寫男士朝鮮」「東京省)、八日日本貴族能像第一 | 質問 應答 | 5年重期5万0一、 |
| O 核雙補助 10,000 10,000 | (4)對解語 1,000 | 公文 2000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100 | (中)致育期 11、20 1三 黑0 | 即)校資補 第三00 三 800 | 各種學 等種學 | (斗) 哲學校 1九、550 1九、550 | · 中)校设補 10.000 ———————————————————————————————— | 十)小學校 益、000 益、000 | 外)校對補 云雪、交易 玉云、玉云、小)校對補 云雪、交易 玉云、玉云、 | 四)教育費 50二、至6 六天、九六 | 三)一种助 五三00 气态0 | ・ | 4)水産費 1,500 1,500 | 大邱 五、元 二、四四、九七 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 元 元 元 元 元 元 元 | | 日の順位の日共校数金額や左斗如に | 五其以下釜山 仁川 大邱 元 | 一十八萬七千六百五十六周ニミ交 | ·十三萬大千三百五十八枚六千二 蘇内五交換所二月中手形交換額 | 手形交換額 | 减退小耳头分斗 | 「無むなり多すまるの見精局叙上」「統、白木綿、紙類、豆 粕等入荷コー | 十二萬餘圓四減退量最多里的中山進也以の不動可以上中機械類四 | 巾類、毛織物、石炭、『ハッニ』等 | 入の在からと 小麥、栗 棉花、綾一十餘萬圓の増加を見なせり2輪 | →市収水廉甘の豆價額の在하の一位。 | 富の増進がダユ米や前年同期の しょがない プロリカ 余動きの | 11年台斗をできて、大変、文変が、十八萬徐側、緑綿五百三十五萬 | 、黒鉛等不況ので4小製絲ヨニ | 超垂示하及可引次可二月貿易可之日本年十二十四年前即 | 同期を三百六十萬餘側の出超の | ヨタユ然の出入貿易 3 擁衡を前の結局四百三十八萬餘圓の分加 | 五十七萬餘圓司波送呈合計の在百九十六萬餘圓司增加驗移入の | #前年同期で比較がで輸移出で 解例会計七千七百九萬餘頃で聞く | | 华界计划方面 6 金多山以下以后,至百六十萬餘與日增加斗然而一月 側 | 4百二十三萬餘則引減退合計5一行4五百八十四萬餘圓引增加餘移 銀 | 日此十前年同月日比較 P B 輸移十五萬餘圓輸移人一千六百二圓 | 月早朝鮮貿易七輪移出二千二百二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | 草鱼 | 月羊至多 | の額や現金・三交附が中の中 最 | 明ら百五十萬曜二里五分利附公 はらずの はいかい かんしょう はいかい かんしゅう かんかん かんしゅう しゅうしゅう はいかい かんしゅう しゅうしゅう しゅう | | は背影中女皇1間は安全をかえて、「大き」の一門は利亞撤退を因うられて、「大き」の「大き」の「大き」の「大き」の「大き」の「大き」の「大き」の「大き」の | | 中者で置めい何等の拘束力で無 | 同宅で不成む時や比決律や数 |
| 遊出總計二三次·老八二天八臺 (完) | 時部間 名[型] [1] 要 | Ę | 六、雜支出 至00 m000 六、雜支出 至00 m000 | 現象を関するのである。 | 計 社合事 助 | (七)業共補三式(015、14、015、 | (大)補助 六七00 三100 | O親察國 | (中)戶費補 1°至00 m°%00 共同井 | (中)舍建築 171100 — | 新脚 14 000 10 t00 | , 傳染病 | TEXT TO TEXT | (以上八日附) | 后,一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的 | 世紀 智府事務官 本田 常吉 は総督府郡守(七等) | 郡 | お | · 總督府郡屬 加茂谷義一 加茂谷義一 | 同 是 P 六 中島 梅藏中島 春 東 | 電管府屬 総督府屬 黒田茂次郎 黒田茂次郎 | 總督府屬 「高、普通學校教諭(六等) 「高、普通學校教諭(六等) | · 選信書記 今野珍之助 選信書記 今野珍之助 | 本官 森園 海 | 道皮師 一般以一般太阳 一般 一般 一人 | ()願免本官 安昌全 | 司 ニュー | 田元力 | 太 | | 中事 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 | 同 | 總督府遞信剧事務官 | · 注 | いるイチンダントナート | 比量前月中旬下度人是平比较中三十八名、朝鮮人側三十四名。 | 取引者4不渡手形人員を日本人 行集會所調査二月中京城組合銀 | 不渡手形人員數 | 三 短池三郎 李永柱 村文尚 秋吉富太郎 成清竹松 警聽服 | 方記六名の中の中 左記六名の中の中 | 州耳非八日付里州當局の對称作し新規仲買六名七全部詮衡の終了八 | | 京权仲買人申请四四 | 中所欠合のドルグリルオルード 一年の欠合のドルグラース 一年の 1 年間・三十二回線少井 プロー・コール 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 | 七年小は攻敗と三女小者が作り一十四金領八百七十二関の三輪回 | 美質を有大門組山所能山三組合「小切手」は第三阿金融聯合組合=小切手 | 金融小切手交換額 | SH LIK LILKS |
| を対けが外の極の機能を中野立下をおいり | 皮閣が利等を求計を必当た故り前義之研究計を希望が中小資見目前已資力の範圍以内立質賤賣貨斗主 | 或々 一箇年間大経す 推忽か立自即金融貿易事業轉向す鑑いの半期 | 安全斗間引引之斗災害大勢の強勢株式界あい七貫株受渡す放資家や裏もりみ云かりの監事質の小学校 | 一般可普通無相傷投際界七危險千二年止即可引 | 五十錢亞新二個八十錢丸信十三圓十個同新十三圓十級漢錄三十八圓 | 上級町止する公週間でそ殖銀艦五進하け外結局二個一二十錢・呈三 | 錢斗七八十銭の三二圓十銭々以昇 中二二十銭の以界の東京の大十 | 一圓五十錢洛付事 中步調四五十錢 | 電略『マス』又や『マンで話長記三一・七六三番 | がネマス | 仁川府海岸町三丁目 | 結局四十銭可止が吸立大街を九十隻の五俣一二十銭の四十銭の五 | 皇五圓斗四圓八九十銭・三歩寺ユー 十子匠二十銭谷付き・大調十銭・ | 「一元制二十後が寸斗・歩馬」後の関ニ로五十級の止めのユ安取モニ | 七則於寸計平步關六則九十錢斗七一百十六圓九十錢。三三同新平四十 | リリ約二千株取引ヨスユ仁取獲や 買方金應能南源方奎煥洪般柱中津 | そ賢方中村坂田布田井口市川のユー九圓≗ 5十銭 8 止。5×七 5 手振 8 | 一銭の八九十銭の水往が中小結局十銭の付がり歩龍五十銭の三七八 | 七昨止上中四十銭供む五十八圓九 | り本場人氣を飲氣豆立台하り京取制の二百八十圓七十錢。豆入電习 | 今朝大新9九十一圓六十錢斗鍾紡 | 前易欠 態 | | のでは、 | がなる | | | 当一大 | | 果紡 一二九、四〇 一二九、六〇 | 和船 九四、八〇 九四、五〇 | 同新 ············ ······················· | 周新 八一、九〇 八二、六〇 八二、六〇 八二、六〇 八二、六〇 八二、六〇 八二、六〇 八二、六〇 | の新 九二、七〇 九二、大〇 | | | 人反朱式 | 電話長九〇三番 化川海岸町三丁目 | 趙大行 | 株式會社仁川米豆取引所仲買人 | 、月服 二六〇、九〇 二大〇、一〇 京 | 月限 | 月限 五大、 ○ 五五、七〇 十月限 五六、 四〇 五二、四〇 | 河底二五二、〇〇二五一、六〇十 | 三月九日前場 | 大阪三品 | 商况 | |
| 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に 一 に | 爱取引所 | 昨後毎々依然硬がき維持ずい阪地(保勢不振) | 二月九日前場 | 設め止すり高低の差か二十九丁便の外八十五銭の内比返すストナ | 限さ七十九錢の始かり場面も亦強報を據す五當中兩限も不成の円先 | ▲第五節 阪地止賃三十四銭の情報のサイナ十四銭の止むり | 七十銭の給하昨六十銭の刃反落が成の斗中限を○九銭一口豆先限を | | 14 の14 先限を八十二銭の好かり出す。14 先限を八十二銭の好かの上す | 銭の報道を據す立當中喇限を不成▲第三節 阪地二三節共育三十五 | ユテレ低を後五銭×止かり 煽が中九銭々不洗返がサイン三銭 | 亦中 | 高 | 二限 | ly La | | 能話長八二・長二八三二番 | 米豆取引所仲買人 | 海岸町三丁目 | - ÷ | 11:11 | - FT 19 | 比全の7 二 前下り川渡ばかいたけれて五銭の吹優寺生がのと四場館の利退後の局面やのキタク家の | K Hills - | B on D | 9110 | 图 司 | 이 하 | | リサン | | 電話~八五五八五五八五五八五五八五五八五五八五五八五五八五五十二十二十二十二十二十二十 | 1 1 2 1 0 1 0 1 0 1 | 人 | 川府海岸町三丁目 | 九九八九二八八九二八八九二八八九二九二八八九二八八九二八八八八八八八八八八八八 | 五九八〇 | 後寄り引 | 九一五〇 九二三 | 四七五 | 五八九〇 五九一〇 | 新 | | 段寄付至三十銭の止む立大新され實質不成が立安収を二十五興三 | 局八十銭マ止する五仁取新器世の八十銭の五十銭の五十銭の五十銭の五十銭の五十銭の五十銭の五十八十十銭の五十八十十十十十十十十十十 | 中三十銭低む五十八圓八十銭 E 別無動機里立会が中京取を前止/六 | 子一届二十段二里入汽用甲人家 (2) 164 大阪十八 184 大阪十八 185 166 166 166 166 166 166 166 166 166 16 | 是 到 不 成 一切 |
| | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 本期総取組品一一、三九六、一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | お 段三 以七千石お 段一 千二百石一 千二百石 | 取組 高二十六個九十五組 | 四節 二十六周八十一時四節 二十六周八十一時 | 二節 二十六則七十二錢 | 公定 信格 コーナスリン・こと 安信 イン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ | 高價 二十七個〇一錢 | 初付 二十六脚七十二部 | 大節 二十六圓八十八銭 | 四節 二十六則七十六四 | 二節・二十六四七十六郎・二十六四七十六郎・二十六四七十六郎・二十六四七十六郎・ | 公定 質格 コープーン・こう | 八圓大十九日八四八十五日 | 二十六圓七十九段二十六圓 | 六丁の日라。ユアアの日本 | 中二錢 A T | - 漁金 | 小鼓 | 光限モ八十五 疑めそ不成の 中中限モ | 共司三十九銭の小高の報を即の出土首四十三年の | 2 | 馬可引張すり上に遂て引入高不成り 4 先限を七十六銭の始 十四銭の11年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 城 大 | 17中四三年曜中 57年八七十九錢四上 | 弛하り買氣突然旺盛하야八十七十一錢の始하야六十九錢々 | 脱毛不成り 十先 | 十九銭々刃奔騰するみみ七十十年始前日楊川七亦醸坊量添す | 「三先限七十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | の赤三十二銭も | 라 | 豆하五五六十丁範圍の月保勢習者×分間二十六圓八九十錢臺を中心。 | 『疑問』中此買上買下を其勢日数 | 期米界で何如む影響き波及せる一種形材料 | 三十三九年産即古々米六萬五千二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | (早可買上む石敷小五大萬石町不)政府米百萬石買上も名財上を各月二十日 | 張一弛がや中心の従來硬材料の | 製門は関連の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は | 如司全司狼狽の節がユニナ七圓を七門中中二筋の行動を疾風莖草 | 六周五六十銭と繋落除券で資浴十七周盛の片貫方針を立ちユニ | 个後保勢乎 # | 好。呈昨止復立中十丁低司初付" | 七七 | 4 節 | 十 | 1 + 1 | ※10二十六隻の投送版版では半年から、八十九艘や対路返が95中外阪地五歩、11十六四八十銭の4台を後二節の4年 | # |
| 特的 個 美 ~ | 养第第 计 篇 篇 | 活過 | の が が が が が が が が が が が が が | 四回 第八篇 機先会 大手 日本 一 一 一 一 一 一 三 十 三 十 三 十 三 十 二 二 十 一 三 十 一 二 二 十 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 探偵活劇不見の手 | 名優か三时又可工氏主 | 米関からりののののでは、米関からは、 | | 川 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 长 活 | 米國の川田の氏主演 | 層假病의崇命 | 米城の社△中一映画 | 米属予社研究室 | 二大高級映畵公開 | Lie. | 体 | 昌之方 | | 支 | | 第五四第十篇 | 活劇北國의女王 | 米國外一豆映畵 | 主演 キーコルーのしい氏 | 戦時人生의大気思 | 米域月引引一映画 | 主演 叫引ー即引み見い | 戦曲 愛 | 米透 | 漫画山見ら典當は | 米顷引つテム映畵 11月九日半日名畵犬公開 | 電話本局ニアニで | | Н | 京城行仁寺洞 | 快男兒エ早世サリの子氏主旨 | 全十五篇三十一卷内述 大冒險活劇呼亦一才。O 石油画 | 明理整理では、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大 | 米國中五公里里社 共產 | 生演 PP 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 将 MP C 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 工能の名便の立身を | · 續大探偵 · | 四十5年映畫全 11 衆 | ころ以子大合 | 日本松竹引生中合社映画 特別新寫眞晝夜公開 | |

| (三) 號二十万万 | 第 日十月三(| 大)年二十元大 | 일 선 | ← (午壬) 日三十二月正 (小) 亥癸酉屆 | 含 (可認物便郵種三第) |
|---|--|--|--|--|--|
| 사이부산 # 더나 오늘오전일곱시 마무시산이 10 성명이 10 성명이 모찬될 일차는일 함께 10 이 나면학이 되었다이라 라이 10 이 나면학이 되었다이라 라이 10 이 나면학이 되었다이라 라이 10 이 나면학이 되었다. 한 환경하는 10 이 나면학이 보험 등 10 이 나면학이 되었다. 한 10 이 10 | 1月全国 () () () () () () () () () () () () () | 76 | 治療中의重輕傷所 大邱慈惠醫院例收容中 を付外計の各外時の公外時の と外計の各外時の公外時の とよりまするとの付出が、中間を とよりない付出が、中間のの分時の とよりまするとの付出が、中間のの分時の とよりまする。 これである。 これでも これでも これでも これでも これでも これでも これでも これでも | 國際, 여서 조사한 만주(海洲)의로국 및 등등자 등 등 한 (附近路) 의 병 (附近路) 의 병 (附近路) 의 병 등등자 등 등 학 등 학 등 학 등 학 등 학 등 학 등 학 등 학 등 | 清 |
| 원이란프 도 글 마 는 를 하 라 한 사 는 다 가 그 그 그 의 의 한 프 도 할 만들어 원산무나 건 주에 착수하 따송건 평 () 한 부 나 아 프 나 를 하 는 이 가 보고한 일 만 사 든 가 수 의 만 나 된 만 보 인 이 의 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 인 이 의 이 의 | 本格成別 中国 | 本本 보통에 사십전 이요 학설에게 이 라는 보통에 사십전 이요 학설에게 되는 보통에 사십전 이요 학설에게 되는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 라이라 이 다 당일을 받는 보통에 사십전 이요 학설에게 되는 보통에 사십전 이요 학설에게 되는 보통에 사십전 이요 학설에게 되는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 다 하며 당일을 받는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 다 나는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 다 나는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 다 나는 나는 이 십전 이요 학설에게 이 다 나는 보통에 사십전 이요 학설에게 이 다 나는 보통에 시작되었다. | 一種を含みている。 ときよりでは、 の 大 で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の とき かっこ み り は の い と ひ い と き か と す い か で の け と ひ で の は き か と す い か で の け と ひ で の と き か と す い か で の け と ひ で の は き か と す い か で の け と ひ で の は ち か で の け と ひ で の け と ひ で の は ち か で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の い か と で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と ひ で の け と で の け と い か で の け と い か で の け と い か で の け と ひ で の け と い か で の け と い か で の け と い か で の け と い か で の け と い か で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い か と で の い い と で の い い と で の い と で の い か と で の い と で の | 中國 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 변화는 이미보도하셨지나라 원을 가지고 있어 의 등이 들어 와서 기사 라이 사이 의 등이 와서 기사 라이 사이 의 등이 의 사이의 의 등이 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 |
| 어제가 지 생 및 트로 부 다 가 기 생 및 트로 부 가 가 지 생 및 트로 부 가 가 로 부 는 나 라 를 위 사 자 라 로 무 이 있 을 그 로 가 가 다 보 구 의 시 로 부 가 다 보 주 가 다 보 주 가 다 보 주 가 다 보 주 가 다 보 주 가 가 다 보 주 가 다 보 주 가 다 보 주 가 다 보 주 의 교 된 가 가 보 수 이 라 보 수 이 리 보 수 이 | 一個類から學校 | 지고지나감으로 진영반 수 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 | 의 그러나 경성중학교학성의학도는 이우부덕(不足)하여져서 제작도는 학년에인 한 학교에를 시장에 비져학교에의 무명이 사 등 하여져서 제작 분 학교에 등 가 기위하여 가 시 등 교학성 학교학성 한 등 지나 본 자학교학성 오류 명이 가 여로지날 때 하는 학교학성 한 명이 자 가 먹 기를 하는 한 기를 | ************************************ | 中で上型編奏 洪 水 厚 中の上型編奏 洪 水 厚 安子選組甲三補流斗 朝鮮女子可現狀姜 石 若 獨唱 本 東 伯 新 書 4 2 1 2 4 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 |
| 부를소집하다고 전성집을 모조리수석하다 지당시 이 사람은 이 모조리수석하다 지당시 이 사람은 이 보다 하다고 인명하는 사람이 이 사람이 이 사람이 이 사람이 이 가면원이되다 사람이 무장아지지 하다 있는 이 이 나는 이 이 이 나는 이 이 이 가 업는 영 된 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 가 업 는 이 이 이 가 업 는 이 이 이 가 건 는 이 이 이 가 업 는 이 이 이 가 없다. 기 선 이 이 는 이 이 이 는 이 이 이 는 이 이 이 는 이 이 이 는 이 이 이 는 이 이 이 는 이 | 司法係是獨 | 지에서는활동하는모양인데 사건 | 李 经 经 及 经 的 的 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 | 지의 지기 등 이 의 지기 등 이 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 | 등 기 전 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 |
| 보 한 수 한 문 사 의 한 등 하 가 이 의 등 을 해 이 의 의 한 수 한 가 이 의 의 한 등 하 가 이 의 의 한 등 하 가 이 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 | 在野頭의方針 中时等연整동하야 기성질을모다수의 기성질을모다수의 기성과상지화루로밖을시어다사합 수 있던사람 속 후자관하게지 | 게에서는류병하사건의 의비용인주자세히알수가르크건거기 의무하이것뿐이어니고그외에도무슨 의로대포하는은 사람들에는 학생 의로 나히삼십가량되야보다는 의 부인도 있스나 달 되야보히는 의 등 하는 중입으로 자비 비용수 임수임이라 | 丁保司法(宋) 한 등 성을 하다는 전 이 번을 무성을 하다는 전을 서 된 문경찰서에서 악을 다시 에 서 한 급이 다 이 이 라는 동 되는 다 이 이 라 이 이 는 지 하는 지 하는 지 하는 지 하는 지 하는 지 하는 지 하 | 변화 부 등 한 의 교 등 한 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 | 三萬國 이 변(의 사 및 대 의 등 의 등 의 의 의 의 의 등 의 사 및 (推公縣) 상 및 가 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 |
| 바지 그 사 사 는 조 의 을 들으면 지나 사 달 금 이 지나 사 를 금 이 지나 사 를 금 이 지나 가 는 지나 이 지나 | 赤旗 軍 大砲 大砲 大砲 | 다루르취 조 ==== ◇ 다구리 하 다 주 조 === ◇ 다구리 하 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 | (人) (사명이라고 명박하구 무르켓스나 도령에서 나가서도 어린것이 즐거 있는지 무령에서 나가서도 기록 되는지 이와 가은 보고를 하지 않는지 무섭히 하는지 기록 되는지 이 왕이 하는지 이 양이 이 양이 하는지 이 양이 이 | 라이 다 하 아 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 | 部民五百餘名: 郡民五百餘名: 郡民五百餘名: 明朝) 인연 - 역 이 당 으로 조 역 의 못 으로 조 역 의 못 으로 조 역 의 못 으로 조 역 의 못 으로 조 역 의 및 수 역 의 수 성 도 주 명 위 보 수 명 의 수 성 도 주 명 위 보 수 명 의 부 부 부 수 수 수 명 의 보 수 명 의 명 의 보 수 명 의 보 수 명 의 보 수 명 의 명 의 보 수 명 의 보 수 명 의 명 의 명 의 명 의 명 의 명 의 명 의 명 의 명 의 명 |
| 도만이잇스며 로국사람이 혼합한일되는 만이잇스며 로국사람이 혼합한일되는 자꾸 무장 울하 맛교 되 포의 학자 포까지가 지고 있습으로 씨리 한우리는 포에게는 이공항하나 반안 무리는 포에게는 이공항하나 반안 무리는 포에게는 이용하나 반안 무리는 전에 열 당시 보다는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수는 지수 | が東外球の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 당(服治町)이당녹육실구변다에 당(服治町)이당녹육일본사람의집의 교용으로 잇다가 지나간 집으로 (光陽)라는 기를 이 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 | 秋傷機化한 本町署에서도 그회사사 다른(伊西曲)이상의(伊城里)이사 다른(伊西曲)이상의(伊城里)이사 다리가부 다음(리田)이상의(伊城里)이사 다리가부 다음(리田)이상의(田城里)이사 다리가부 | (學藝會) 라보이 하는 장의 의 한 보이 있는 이 의 한 년 (成南) 후 원군 (洪原郡) 후 원군 (洪原郡) 후 원군 (洪原郡) 후 원군 (洪原郡) 후 원군 (北原郡) 후 원 본 (北原郡) 후 원 본 (北原郡) 후 원 본 (张明老) 의 의 후 명 본 (张明老) 의 의 후 명 본 (张明老) 의 의 후 명 본 (张明老) 의 교 본 (张明老) 의 전 (사水 및 의 후 이 후 이 후 이 후 이 후 이 후 이 후 이 후 이 후 이 후 | 中では、 の常局の陳情 を出かり、たべき を出かり、たべき を出かり、たべき を出かり、たべき の中では、 のりでは、 のり |
| 中國 의 (黑河) 다방의 로부러 등 로 국 은 다만 함께 및 하 가 를 이 만 주 리 (黑河) 다방의 로부러 중로국 당하는 지 및 다고 함께 가는 이 한 한 이 이 한 이 이 한 이 이 한 이 이 이 한 이 | 是 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 하야 가를 이 의 자 그 의 오른 된다니가 된 및 트로들이 갓스나 라 라 및 트로들이 갓스나 라 한 에 시부 한 시 에 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 | 京城電車 | 다이 년 지 는 아 스 비 시 그는 자 라이 년 지 는 아 스 비 시 그 뒤 때 는 그 나 가 (虎喉) 라는 두 이 나 지 의자 미 스 리 는 나 사 후 는 연 열 도 하 나 보 가 수 있는 나 서 후 는 연 열 도 하 나 보 가 수 은 한 이 입 것 스 때 그 타 에 나 보 가 한 하는 보 경이 이 모 는 보 및 들의 시 보 금 이 일 한 하는 보 경이 이 의 장 수 도 한 이 일 것 스 때 그 다 음 에 서 일 한 가 의 자 의 가 열 년 이 일 시 한 의 는 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 수 이 일 하 가 보 가 지 못 할 수 이 일 이 약 이 하 교 의 회 하 약 는 이 일 사 이 일 가 가 의 가 의 가 의 가 의 가 의 가 의 가 의 가 의 가 의 | |
| 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、 | 하지 못할 것은 말 한 것도입건이와 한일상관으로부터 상세로 출근의하지 안켓다고하더라 하지 안켓다고하더라 부름을 조선인정면화인 급시간 이라 등 이 그는 이 이 그는 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 | 원에 식육일 오전야홈시에 동군목에 사서 그이웃에 사는 리탁(李託) 의 작 리되는 리 (全來文) 라는 자 리 천 시가 심 등 라 이 우 이 라 한 것이라고 전 리 리 (全來文)가 자 리 한 것이라고 된 의 를 볼 보 게 가 심 등 인 를 된 가 심 등 이 발 가 되 아 나 고 한 것이라고 전 리 리 등 살 보 게 가 심 등 인 를 보 게 가 심 등 인 를 보 가 다 고 한 것이라고 전 리 리 등 산 시가 심 등 인 를 보 가 다 고 주 (公州) 디 방 비 원 생 경 (江景, 지 등 에서 징역일 비 원 생 경 오 수를 데 거 하 였 대 라 한 것 을 볼 복하고 경 성 복 실 비 원 생 경 오 수를 데 거 하 였 대 라 생 성 보 십 년 병 사 공소를 데 거 하 였 대 라 생 복 실 비 년 병 상 경 인 년 병 사 공소를 데 거 하 였 대 라 생 복 실 비 년 병 상 경 인 년 병 사 공소를 데 거 하 였 대 라 생 복 실 비 년 병 상 경 인 년 병 사 공소를 데 거 하 였 대 라 생 복 실 비 년 생 경 인 년 병 사 공소를 데 거 하 였 대 라 생 복 실 비 년 병 상 경 인 년 병 가 가 하 있 다 라 하 있다 라 하 요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요요 | 주남(忠南)용산군(論山郡)린산면(連山面)관등리(官洞里)에사는김 명수(念明沐二一)는 원리주식장기에 청혹하는자로 지금으로부터가에 청혹하는자로 지금으로부터 무역하야 만기품옥한 전과자로 가루 막이에 체버릇기웃존나고 종자로 방막하야 만기품옥한 전과자로 바다 만기품옥한 전과자로 기가하고 지나간임 | 아이 일는 것 옷 처 그 더 모 내 이 비 라이 안 는 보 한 처 는 이 보 하 아 단호 한 처 는 이 한 차 는 한 한 건 이 하 안 한 한 그 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 | 로 바 보는 하이 무 변 이 보는 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 |
| ○ (宋春夜盛大年) 등 명교 등 발 한 다 이 라 한 진 이 란 만한 이 린 아의 들 의 자 미 스러운 노리와 유희가 잇 스리라는 데 그릇 방 수 의 선 리 가 라 하고 말 함 한 다 하라 보 수 등 등 (辭松洞) 가 라 라 의 한 다 이라 사 라 로 당 의 한 다 이라 사 라 로 당 의 한 다 이라 하고 함께 사 함의 한 다 이라 하고 함께 사 함께 하고 함께 하 | 독발중대 교모앙종 정후유로 리 클로뱅는 등 하하이 있는 등 한 하하이 있는 | 사주후로 조선시림원 지수후로 지수후로 조선시림원 이 지수후로 지수 마찬 이 일을 경솔이지 하야는 성 나이 있도라하더 무료로 처료 할 레 무료로 처료 할 레 무료로 처료 할 레 무료로 처료 할 레 이 보니 이 사이 사는 공사 지수 이 의 등 이 의 공장에서 이 의 공장에서 의 교 등 가부리 이 의 공장에서 의 교 등 차부리 이 의 공장에서 | 成課長)에게 만주고 저는 보고에서 사라 이 및 은이 미 인호 것이 분 명하다고 이 가 만주고에서 한 하다고 하는 그 게 함께 하다고 하는 그 게 함께 하다고 하는 이 기 만주고 저는 이 이 기 등 이 이 기 만주고 저는 이 이 기 만주고 지나는 이 이 기 만주고 저는 이 이 기 만주고 지나는 이 이 기 만주고 지나는 이 이 기 만주고 지나는 이 기 만주고 지나는 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 | (平) 보고 (本) 한 (**) 한 (** | 사십여세의 정단 사실이 세의 정단 사실이 세의 전 시설이 세의 전 전 시설이 세의 전 전 시설이 시설이 사실이 보고 전 시설이 시설이 보고 전 시설이 시설이 보고 전 시설이 보고 전 시설이 시설이 보고 전 시설이 시설이 보고 전 시설이 보고 전 시설이 시설이 시설이 보고 전 시설이 |
| | 新申込む44を敬要を 大田 政 大田 政 | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 一金一冬一百里。 | 品質の良好か品模型の目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目元山府本町四丁目 | |
| 時間を記述したものでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 | 資金 | 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回 | 世界の一個では、大学の一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、 | 大きな 朝鮮 ユー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 正典 |

新か吟赤血球を増加が立新陳代謝を 旺盛別か吟全身榮養上强力也作用号呈言、 目에原因見者の多音、 入體七恒常一定量의卒の라る受蓄藏入のりか면 生命受保持习不能な、 即人體肝臟中에包含된 고體重を增加か**い精力を旺盛**別하 早早三一利 七此字の引る受人工的 O豆集成む 造血要素外同性同態の故忌 円皮膚의色澤号良好 其吸收同化가容易하呼何等의中毒性の絕無하며造血機能を亢進 別宮 享の早日の早早の酸 나도리子の液狀製劑豆外 世上の虚弱者及病者や 王冠装置 故三本劑服用後呈 顯著司食慾是催 大概此의補給の不足

本 方 부 루 5 제

닥

本劑せ左記外如言病症の適應言各配合劑가有하呼服用許の極

可便事。

此가實呈醫學大家가補血强壯劑中的第一

位라五推舉かた外

이올시

0}-श 7 三 전부루도 부 부 루 루 三 三 졔 利 제

適

及

類

华아야 マーデザデテー 졔

◎本劑七全間各地藥店3月販買竹萬一品切司時七直接本館支店及代理店。 見注文하引者望計●販賣者の注意中 元

說

明

進

呈

本 舖

大阪市東區道修町二丁目一番地(振替大阪一七四一番)

上海四川路三一一號(貞豐洋行) 大連市浪速町(日本寶美會社) 東京日本橋區本町(高井商店) 東京日本橋區本町(高井商店)

↑ 對價 ← 大瓶 五 百 瓦入 金三 四 病後帆復期、妊娠祭養、產後衰弱、授乳婦等 念性慢性貧血病、虛弱、羸痩、萎黄病、榮養不良

、 全三圓五十段 会二圓三十段 一会二圓三十段 一会二圓三十段 一会二圓三十段

| 雨病恢復期、 · 賣價 ⟨ 大 瓶 五 百 瓦人 金三面五十段 | 京淺不良、孃瘞 動脈硬化症、佝僂病:黴毒症等腺病質疾患、小兒發育不全、貧血症、黴毒性貧血 五十五八 金次、河上山山八 一百 五八 金次、河上山八 金次、河上山山 全二國五十段 金二國三十段 金二國三十段

루전부루도 瓶 百 瓦 入 金五圆五十銭配二百五十瓦入 金三属五十銭尺、防膜炎、咳嗽 咯痰、百日咳等結核、加答兒性諸疾患、氣管支炎、 利の限かの法規の依む買受證予徵を事

上海州城 東京代理店 村里店居山県所 東京代理店